

進行性の難病患者への コミュニケーション支援と工学支援技術の可能性

進行性の難病患者は音声言語の障害により、コミュニケーションや日々の生活の意思決定の代替え手段として「重度障害者用意思伝達装置(以下、装置)」を利用し、意思疎通をはかっています。しかし、症状の進行に伴い、装置の入力操作が徐々に困難となってくるため、支援者は本人の状況確認を行い、意思疎通の方法を模索することが少なくありません。今回、症状の進行に応じたコミュニケーション支援の考え方や、工学支援技術の可能性について学ぶ場を設けました。皆様の参加をお待ちしております。



日時：令和6年2月10日(土) 13:30～16:30

会場：県リハビリテーションセンター 4階 大研修室

金沢市赤土町二13-1 TEL (076)266-2860

対象：リハビリテーション専門職、福祉用具専門相談員 等

内容：①講義 13:30～15:00

「進行性の難病患者への

コミュニケーション支援における利用者との協働」

大阪市援助技術研究室 作業療法士 池田 真紀 氏

②講義・体験実習 15:00～16:30

「工学支援技術の可能性

～生体現象方式の意思伝達装置を利用した事例をとおして～」

ダブル技研株式会社 堀込 貴嗣 氏

申し込み方法:裏面をご参照ください

～ 大阪市援助技術研究室のご紹介 ～

約30年間、主に重度の障がいのある方への補装具や福祉用具、住環境整備の相談、研究開発、普及事業に取り組んでいる機関です。

特に相談事業を通じて、筋萎縮性側索硬化症による重度障がいのある方への福祉用具支援技術サービスを提供され、その経験から現状の問題と課題をまとめ、個々のニーズに応じた具体的な問題解決を図っておられます。

～ ダブル技研株式会社のご紹介 ～

筋萎縮性側索硬化症などをはじめとする神経難病の障害分野での意思伝達装置、コミュニケーションツールや補助機器のものづくりメーカーでありながら、国内で販売されているほぼすべての主要また関連製品を総代理店・一次代理店として扱う国内で唯一の総合販売会社です。

～ 申し込み方法 ～

必要項目を記載し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

申込み先:sien@pref.ishikawa.lg.jp

(石川県リハビリテーションセンター支援課)

<必要項目>

件名)支援技術研修の参加希望

内容) ①氏名

②勤務先名

③職種

④経験年数



QRコードからも
申込み可能です

申し込み締め切り 令和6年2月3日(土)

受講における留意事項

- ・申し込み受付後、数日以内に受付完了メールを送信します。また、研修会について後日連絡する場合がありますので、当センターからのメール（sien@pref.ishikawa.lg.jp）が受信可能な状態に設定をお願いします。
- ・個人情報の取り扱いには十分留意します。
- ・ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

☆ 問合せ先 ☆

県リハビリテーションセンター 事務担当 東・北野

TEL:076-266-2860 e-mail:sien@pref.ishikawa.lg.jp